

平成29年第2回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	平成29年2月14日(火) 午前10時00分					
開 会 場 所	吉田小学校 1階 会議室					
開会の日時・宣告者	平成29年2月14日(火) 午前10時00分			山西 実		
閉会の日時・宣告者	平成29年2月14日(火) 午後0時5分			山西 実		
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教育委員	前 田 一 郎	出席
	職務代理者	中 根 政 美	出席	教育委員	満 木 信 吉	出席
	教育委員	尾 島 紗 緒 里	出席	教育委員	齊 藤 一 夫	出席
				書記:木村 博・熊田 貴子		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 次 長	大 澤 一 男				
	総 務 課 長	関 根 一 勝				
	学校教育課長	森 祥 一				
	社会教育課長	小 川 伸 朗				
	スポーツ振興課長	関 根 智 裕				
	吉田幼稚園長	麻 生 偉 佐 男				
	西 公 民 館 長	市 川 孝 之				
	総 務 課 主 事	大 越 歩 美				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前 10 時 00 分</p> <p>日程第 1 吉田小学校の運営状況等について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>吉田小学校長 吉田小学校の運営状況等について、資料により説明する。 《質疑》</p> <p>尾島委員 サバイバルキャンプには、何度か参加させていただいたことがあり、カレー作り等の災害時における対処方法を体験した。PTAや地域の皆さんの協力があるからこそ、このような取組ができるのだと実感した。今後も続けてほしい。</p> <p>吉田小学校長 サバイバルキャンプは、来年度で 10 回目を迎えることから、記念として何か実施しようということになった。地域の方からは、起震車や防災ヘリに乗ってみたいという声があった。また、児童には、AEDを用いた救命救急を実施したいと考えている。児童が、周りで頑張ってくれている人に対して、感謝の気持ちを持てるような授業を行って参りたい。</p> <p>満木委員 28 年度の各学力関係テストの結果を拝見し、大変心強いと思った。校長から、読解力が大切だということをお聞きして、我が意を得たと思った。このような結果が幸手市全体にもたらされることが非常に大事なことだと思う。教育についてご尽力いただき本当に嬉しいことだと思う。</p> <p>吉田小学校長 読解力がつかないからどうしよう、などといった声が、実は、教員から上がってくる。これは嬉しいことである。私の立場は、野球でいうと監督のようなもので、教頭がヘッドコーチという形で皆を指導してくれる。本校はベテランの教員が多く、教員一人ひとりがコーチとなって、自分の専門性を持っているところを他の教諭に教えてくださる。職員の輪ができていからこそ、児童の学力向上につながっているのではないかと思う。</p> <p>また、本校は、一番多い学級でも 18 人であり、少人数である。少人数というと、良くない印象を持つ人もいるが、本校では、良い方の結果に出ている。児童一人ひとりを見るこ</p>

	<p>とが私達の仕事であるが、本校では、見落としや見逃しがない。環境がそろっており、非常に好ましい状況である。</p> <p>前田委員</p> <p>吉田小学校は地域の学校だという話をよく聞く。算数の成績が良いとのことだが、確かに資料の数字を見ると、成績が良かった。校内課題研修があるから、算数の成績が良いと伺ったが、校内課題研修というのは、どのようなことなのか。</p> <p>吉田小学校長</p> <p>今年度は、算数を校内課題研修のテーマとして決めて、取り組んでいる。研究授業で指導者を招き、授業を見ていただき、ご指導いただいている。教員にも力が入り、色々な指導法も勉強しており、それが児童の学力に反映されたのだと思う。</p> <p>中根職務代理者</p> <p>先生方が、子供たち一人ひとりを大切にされた結果が、学力テストの結果に結びついたのでと思う。家庭の協力の大きさや先生方の指導力、子供たちの一生懸命な取り組みを感じた。他の学校においても、大いに参考になる取り組みだと思う。</p> <p>また、読解力の育成が全体的な課題となっているが、読書をするのと資料を読み解くことは車の両輪のようなものである。その点をよく捉えて、実践されている学校だと思った。このこともまた、他の学校にとって参考になるであろう。</p> <p>教育長</p> <p>前回会議録の内容について質問を求める。</p> <p>《質疑》 質疑なし。</p> <p>《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>教育長</p> <p>図書館の利用促進について、協議を進めて参りたい。社会教育課長より説明する。</p> <p>社会教育課長</p> <p>資料を基に説明。</p>
<p>日程第 2 前回会議録承認</p>	
<p>日程第 3 協議事項 図書館の利用促進について</p>	

《質疑》

満木委員

セカンドブックスタートや読書通帳は良い取り組みだと思う。活性化された脳を作るため、また、今後世の中に出た時に専門技術を身に付けるためにも、読解力は非常に大事なものである。セカンドブックスタートのように、子供たちが本に興味を持つような取組はとても良いと思う。図書館のような、本が大量にある場所に子供たちを連れていくというシステムも作っていただけると、子供たちの読書量が増えるきっかけになるのではと思う。

教育長

図書館への訪問を行っている学校はどれほどあるか。

社会教育課長

市内小中学校のうち、ほぼ全校が図書館を訪れて見学をしている。しかし、限られた時間のため、そこでそれぞれ1冊選ぶというところまでは至っていない。図書館という施設では、このようなことができるといった基本的な部分についてお伝えしている。

満木委員

1冊目を借りるということを体験させることが非常に大切だと思う。初めて本を1冊借りて、こうすれば自分の好きな本を借りられるのだという体験をすれば、それが習慣になるということがある。その体験が、人生の方向性を変えることもあると思う。ぜひシステムとして作っていただけると大変ありがたい。

尾島委員

読書通帳について、本を40冊借りると図書館から記念品として鉛筆をもらえるということだが、鉛筆は何本もらえるのか。

社会教育課長

2本もらえる。

尾島委員

説明資料のうち事業サービス内容について、大人向けの図書では、テーマを考えて、それぞれ図書を展示しているということだが、児童向けにも実施してもらえるとよいかと思う。行事やイベントごとのテーマに沿った本を展示していただき、そうした本が目に触れるだけでも子供たちにとって良いことだと思う。子供たち向けにも、テーマを持った展示を

していただければと思う。

社会教育課長

図書館で色々な本に出会う機会を作ることが、図書館の重要な役割だと考えている。こちらでも実施事業を研究して、試みをしてまいりたい。色々な本と接する機会を広げていければと考えている。

満木委員

読書をすることについての動機付けとして、なぜ読書が必要なのかということ意識づけるようなものを各教室に貼っていただきたい。読解力は、生きる術になる。

単に読書をしなさいということではなくて、読書がどのように人生に影響するかということ強く認識してもらえようものを、毎日子供たちが見ることのできる場所に掲示すると、より読書に親しみやすくなるのではと思う。

学校教育課長

学校図書館協力員を各学校図書館に1名配置している。協力員が中心となり、図書館内には、色々な掲示をしているが、教室等にも掲示するよう、学校へ働きかけてまいりたい。

満木委員

保護者に対しても、読書がいかに大切かということ認識していただけるよう働きかけていただきたい。意識をすることが、すべての動機付けになると考えている。

社会教育課長

お子さんを図書館に連れて行くよう、保護者に対して働きかけるなど、試みをしてまいりたい。

教育長

図書館だけでなく、公民館にも図書のコナーがあるので、身近に公民館があるという方に、親子で行っていただくことも必要かもしれない。

社会教育課長

公民館は、夏にはエアコンが効いており、勉強をするには良い環境ではあるが、図書コーナーの利用は低調である。

教育長

公民館のほうが実施しやすい場合もある、また、公民館のほうが、地域の力も借りやすいため、地域と公民館の特色を活かした図書館づくりをする等、魅力あるものにしていく必要がある。

齊藤委員

香日向分館が 27 年度に開館したということだが、分館が開館したことにより、本館の貸出人数は減少したのか。

社会教育課長

香日向分館ができる以前の本館の利用者数は、減少傾向であったが、現在は持ち直してきているところである。香日向分館ができたことで、新たに図書館をご利用いただく方が増えたと思う。香日向分館に隣接している西公民館については、香日向分館ができた影響で、利用者が大きく減少した。しかし最近では持ち直してきたように思うので、利用者数の底上げを図ることはできたと考える。

前田委員

図書館の利用促進について教育委員会で話し合うことに違和感を覚えた。民間委託をするということは、その受託企業が利用促進をある程度考えるべきだと思う。受託企業の意見等を踏まえて、話し合うべきなのではないかと思う。

社会教育課長

指定管理者の方で、創意工夫をしていただくことは、当然の責務であり、ご指摘のとおりだと思う。その点について、こちらは図書館の運営管理が適切になされているかチェックをする側である。図書館運営協議会があるので、利用者の声等をいただいて、運営に反映させたいと考えている。また、運営上で色々な課題等が生じた場合には、改めてご相談したいと考えている。

満木委員

財政上の理由で指定管理者制度を導入したことについては理解できるが、図書館の運営について核心となる部分については、教育委員会で決めるべきだと思う。財政上の理由で指定管理者を導入しているということはやむを得ないと思うが、指定管理者に管理を任せて、単にチェックをするというのは、大きな方向性において違うと思う。管理運営に関して、財政上軽減できるということで、指定管理者に任せるとするのはやむを得ないと思うが、本来は市がやるべき事業だと思う。

社会教育課長

図書館の運営に関して、直営で行っている自治体も多い。幸手市で指定管理者制度を導入したのは、経費の面もあるが、市では持ち得ないような、より高いサービスを提供させ

<p>日程第 4 議 事 議案第 4 号 平成 28 年度幸手市一般 会計補正予算（第 5 号） 教育費の要求について</p>	<p>ていただくためということが大原則である。今回ご紹介させていただいた取組についても、直営の頃にはできなかったことである。これも制度を導入した一つのメリットである。幸手市の施設であり、市民、子供たちのための施設でもあるので、今後も対等な立場で意見交換をしていく。現在、毎月 1 回指定管理者と意見交換を行っており、今回いただいたご意見についても改めてお話させていただき、新年度に向けて、業務の再確認をするきっかけとなればと思う。</p> <p>中根職務代理者</p> <p>市の文化水準が図書館の充実に反映していると思う。今後も、子供たちの読書活動の向上等、読書に親しむ市になるようご期待申し上げたい。</p> <p>リサイクル事業について、学校へ優先的に本を提供しているということだが、ぜひ続けてほしい。子供たちや市民の皆さんが良い本に触れ合うことができるよう、今後も取り組んでいただきたい。</p> <p>教育次長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》 なし</p> <p>《採決》 全員賛成により原案どおり議決。</p>
<p>議案第 5 号 平成 29 年度幸手市一般 会計当初予算教育費の 要求について</p>	<p>教育次長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>前田委員</p> <p>県定時制及び通信制教育振興会負担金と高校定時制教育振興会負担金について、なぜ、県の定時制高校の負担金を支払うのか。</p> <p>学校教育課長</p> <p>この負担金については、市内の中学校を卒業した生徒が定時制高校や通信制高校に通っている場合に、在籍生徒数に応じて支出する。</p>

前田委員

定時制高校や通信制高校に通う生徒の出身市町村が負担するものなのか。全日制高校に通う生徒の分については負担しないということによいのか。

学校教育課長

そのとおりである。

前田委員

負担金、補助及び交付金の学校給食費補助金については、説明を受けたが、扶助費のうち学校給食費についても説明をいただきたい。

学校教育課長

扶助費の学校給食費については、就学援助という形で、特別支援や生活支援の必要な児童生徒への給食費の補助金である。

前田委員

還暦式の予算について、還暦式はいつ頃に実施する予定なのか。

社会教育課長

実施する時期について、まだ確定していないが、概ね夏頃の実施に向けて、関係部署と協議をしており、北公民館を会場にと考えている。

前田委員

成人式と同じように、幸手市内の60歳に該当する方に案内状を出して、夏頃に実施するという事なのか。

社会教育課長

今回は、28年度に60歳を迎えた方を対象として、29年の夏に実施する予定である。60歳を過ぎ、仕事で定年を迎えた方にお声掛けしたいと考えている。

前田委員

子ども会育成連絡協議会補助金について、子ども会は幸手市にいくつあるのか。

社会教育課長

いわゆる単位子ども会については、例えば、吉田地区であれば吉田地区の中に子ども会があり、権現堂川地区にも権現堂川地区の子ども会がある。実際のところ、幸手市の子ども会育成連絡協議会に加盟している地域は権現堂川地区と吉田地区の2地区しかない。その他に、独立して活動している単位の子ども会もある。しかし、実際に子ども会育成連絡協

議会に加盟する、補助金の対象となっている地区というのは、吉田地区と権現堂川地区の2地区のみである。

前田委員

2地区に対して80万円ということは、以前、幸手市内に子ども会があった頃に比べて、金額が減っているのか。

社会教育課長

その頃の子ども会の状況については把握していないが、実際には、それぞれの地区の活動費に充てるというよりも、幸手市の子ども会として実施する事業の運営に充てるというのが主な使途である。

前田委員

防火管理者資格取得講習会負担金について、防火管理者というのはその施設に個人名で登録をすることになるかと思うが、個人名で登録するものに対して、市が支出するのか。

社会教育課長

この講習会には公民館の館長が参加することになる。館長は、必ず防火管理者の資格を有していなければならない。幸手市の職務として、その資格を取ることになるので、その分の負担金については、市の予算から支出をさせていただく。今年度の公民館長については、既に資格を持っており、異動等で新規の職員が配属となった場合に備えて、予算を計上している。

前田委員

エアコンの予算について、エアコンの熱源はどうなっているのか。

総務課長

熱源はガスである。12校のうち、東地区の4校に関してはプロパンガスで、その他8校については、都市ガスである。いずれもガス方式である。

前田委員

栄養士について、予算の要望後の状況はどうなのか。

総務課長

現在、県費負担の栄養士が3名、市費の栄養士が6名いる。来年度は、さらに1名の増員となった。

中根職務代理人

総合教育会議でもお話をさせていただいたが、大規模改修、エアコンの導入、トイレの改修については非常にありがたいことである。ぜひ、順調に実施していただきたい。

<p>日程第5 行政報告 1 教育長報告 2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>郷土資料室について、公開が予定されているということだが、いつ頃の公開を予定しているのか。</p> <p>社会教育課長 平成29年度の工事をもって一区切りとなり、平成30年度にはご覧いただけるような体制にしたい。その後に整備する箇所もあるが、30年度までにはご覧いただけるような形にしていきたいと考えている。</p> <p>《採決》 全員賛成により原案どおり議決。</p> <p>教育長 1 各種教育長会議等 2 講演等 について資料により説明する。</p> <p>学校教育課長 1 平成29年度幸手市立小・中学校学級編制・児童生徒数見込みについて 2 平成28年度学校評価の結果について 3 2月中旬から3月末までの行事予定</p> <p>吉田幼稚園長 1 1月の主な活動 2 2月の主な行事予定 3 3月の主な行事予定</p> <p>社会教育課長 1 平成29年幸手市成人式について 2 彩の国21世紀郷土かるた幸手市大会 3 バスDEサイエンスツアー 4 幸手市文化遺産だより 5 第36回幸手市企業「人権・同和問題研修会」 6 第35回彩の国21世紀郷土かるた 県大会</p> <p>中央公民館長 1 3B体操講座 2 ピラティス教室 3 子ども料理教室 4 第36回幸手市公民館まつり 5 1月の利用状況</p> <p>社会教育課長（図書館） 1 報告事項</p>
---	---

- 2 利用状況
- 3 今後の事業予定
- 4 予約の多い図書
- 5 購入図書リスト

スポーツ振興課長

- 1 幸手市スポーツ推進委員連絡協議会主催事業
- 2 幸手総合公園主催事業
- 3 報告事項

について資料により説明する。

《質疑》

満木委員

学校評価のアンケートについて、担当者の主観を聞くという調査は重要なことであり、意味のあることであると思う。しかし、子供たちの生活習慣等の事実に基づいたアンケートも取るべきだと思う。ぜひ、調査結果が子供たちの学力向上や教育環境の改善に結びつくようなアンケートを実施してほしい。

学校教育課長

学校評価については、学校運営の改善を目的としている。なお、児童生徒の生活習慣等についての具体的なアンケートについては、別の機会に実施している。それぞれの結果を活用し、今後の学校運営につなげて参りたい。

尾島委員

小中学校の学校評価の結果について、保護者の立場から回答をさせていただいた。設問によっては、先生に対して聞いているもの、保護者に対して聞いているもの、児童生徒に対して聞いているものを比べることが難しいものがある。例えば、設問6で教師に対して「あなたは、子どもが進んであいさつをするよう指導していますか」と聞いているが、なぜ、保護者に対しては「あなたのお子さんは、進んであいさつをしていますか」と聞くのか。児童に対しては「あなたは、進んであいさつをしていますか」と聞いており、教師や保護者の影響が結果に出ると思うが、保護者に対してこの質問をするというのは、挨拶をすることに対して、家庭で指導していないような、家庭で教育をしているかという質問になるのではないか。なぜ、このような質問にしたのか。これでは、児童が進んであいさつをしないのは、学校が指導してくれないからだ、という考えにも結びついてしまうのではないか。挨拶

<p>日程第 6 その他 1 次回定例会の 日程について</p> <p>閉 会 午後 0 時 5 分</p>	<p>撻をしないのは、家庭にも責任があるのではと思う。 学校教育課長 学校評価は、学校運営を振り返り、改善につなげるためのものである。教員の指導が児童生徒に行き届いているか、評価を行い、教育活動の改善や充実につなげることがねらいである。</p> <p>満木委員 学校評価アンケートで、保護者に対して、おおむね「分かりやすい授業と言っていますか」という設問に対して、満足だという回答が、小学校では約 30 パーセントを切っている。また、中学校においては、20 パーセントを切っている。これはとてもショックなことである。</p> <p>学校教育課長 おっしゃるとおりだと思います。真摯に受け止めて、分かりやすい授業の実践に努めて参りたい。</p> <p>各委員の意見を確認した結果、3 月の定例会については、次のとおり決定する。 第 3 回教育委員会定例会 日時 平成 29 年 3 月 14 日 (火) 午前 9 時 30 分～ 場所 北公民館 1 階 講座室・会議室</p> <p>総務課長 次回の協議事項について、スポーツ振興及び体育施設の利用促進について委員の皆様にご協議頂ければと考える。</p> <p>総務課長 教育審議会の検討状況について説明。</p> <p>教育長 閉会を宣す。</p>
---	---

<p>他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">平成29年 3月14日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 前 田 一 郎</p>